

第19回

包装材料セミナー

オンライン配信

—プラスチックリサイクルの取り組みと技術動向—

日 時：令和6年1月26日(金) 13:00～16:50

主 催：公益社団法人日本包装技術協会

包装材料セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

プログラム

13:00～13:50 講師 仙台市 環境局次長兼廃棄物事業部長 沼田 和之氏

講演内容

『仙台市における製品プラスチック一括回収・リサイクルの取組みについて』

仙台市では、プラスチック資源循環促進法に基づく再商品化計画を策定し、令和4年9月に全国で第1号となる環境大臣及び経済産業大臣の認定を取得。令和5年4月から製品プラスチックの一括回収及びリサイクルを実施している。今回のセミナーでは、過去に実施した実証事業やリサイクル開始後の状況に加え今後の取組みについてご紹介する。

14:00～14:50 講師 遠東石塚グリーンペット株式会社 営業本部・本部長 顔 宏任氏

講演内容

『PETリサイクル市場の現状と今後の見通し』

近年、日本のPETボトルのリサイクル市況は大きく発展してきた。過去PETボトルリサイクル品の用途と言えば、主には洗浄されたPETフレークとして、繊維や卵パック等に使用されてきたが、2017年から飲料メーカーは環境問題を巡って、「ボトルtoボトル」の運用を本格的に展開し、今では飲料用途の「ボトルtoボトル」の用途が日本のPETボトルリサイクルの主要用途となり、市場を大きく変えてきた。本講演では直近での「ボトルtoボトル」影響によって市況の変化と今後の見通しについて述べたい。

15:00～15:50 講師 荏原環境プラント株式会社 企画部 市場開発企画課 課長 佐藤 郁磨氏

講演内容

『プラスチックの資源循環に向けたケミカルリサイクル技術』

今後のカーボンニュートラル(CN)社会を実現するためには、燃料やプラスチックの原料となる原油など炭素資源の新規投入量を減らし、利用可能な資源を最大限循環させる必要がある。

当社では、ごみ処理施設やエネルギープラントの設計・建設から、運転・維持管理、地域貢献、副産物(電気・灰など)の資源化まで、一貫体制で取り組んでおり、2000年代前半までには廃棄物処理技術としてのガス化技術の開発にも取り組んでいた。

当時は廃棄物発電技術への需要が主流であったため、実用化されずに開発を中断していた技術もあったが、現在のCNへの流れの中でプラスチックの資源循環に貢献できるのではないかと考え、開発を再開している。

本講演では、マテリアルリサイクルとの共存発展を視野に、当該技術の紹介を中心とした当社のケミカルリサイクル技術の紹介を行う。

16:00～16:50 講師 ライオン株式会社 サステナビリティ推進部 中川 敦仁氏

講演内容

『使用済み日用品(製品/容器)のリサイクル社会への道程』

近年、プラスチック廃棄物が環境に与える悪影響が深刻な問題として、ますます注目を集めている。日常生活において、食品包装から家電製品まで、多くの日用品がプラスチックで作られている。国内プラスチック使用量880万トンの使用後の廃棄物処理が大きな課題となっている。このような状況から、政府は「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行し、本法の下で各主体は対応に取り組むことが求められている。本セミナーではトイレタリー製品製造事業者であるライオン株式会社の資源循環に関する方針を概括し、主にリサイクルに関する具体施策の実施状況・成果と課題について紹介する。さらにこれらの活動からの学びを基に、如何にして資源循環社会を実現していくか道程についても私見を披露する。

講師のご紹介

沼田 和之(ヌマタ カズユキ)氏

仙台市環境局 次長兼廃棄物事業部長

略歴 2017年4月 仙台市市民局生活安全安心部市民生活課長
2018年4月 仙台市市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長
2020年4月 仙台市環境局廃棄物事業部長
2023年4月 仙台市環境局次長兼廃棄物事業部長

顔 宏任(イエン ホンレン)氏

遠東石塚グリーンペット株式会社 営業本部・本部長

略歴 2001年 台湾国立中山大学卒業 財務管理学科卒業
2003年 遠東紡織入社(現FENC)
2008-2010年 遠紡工業(上海)駐在
2011-2012年 日本rPETプロエージェントマネージャー
2013年~ 遠東石塚グリーンペット株式会社に営業本部長として出向
2021年~ FENC本社シニアバイスプレジデントに就任(日本市場担当)

佐藤 郁磨(サトウ イクマ)氏

荏原環境プラント株式会社 企画部 市場開発企画課 課長

略歴 1996年3月 東京大学 工学部 航空宇宙工学科 卒業
1996年4月 株式会社荏原製作所 入社
2021年1月 荏原製作所 環境事業カンパニー 事業企画部
市場開発企画課 勤務
兼 荏原環境プラント株式会社 企画部 市場開発企画課

中川 敦仁(ナカガワ ノブヒト)氏

ライオン株式会社 サステナビリティ推進部

略歴 1987年 ライオン株式会社 入社
1995年 同 社 包装設計部門:
CAD/CAE を活用した容器設計を担当
2020年 同 社 サステナビリティ部門: 資源循環を担当

包装材料セミナー企画委員

- 香川 幸子 委員 TOPPAN株式会社 生活・産業事業本部 SX推進センター SXパッケージ開発本部 包材開発部 包材1チーム
- 大橋 敬史 委員 マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域 研究開発部パッケージマネージャー
- 芋田 大輔 委員 東洋製罐株式会社 テクニカルセンター 基盤技術開発部 主幹
- 大葛 貴良 委員 ユニチカ株式会社 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長
- 大平 祐歌 委員 株式会社 明治 研究本部 技術研究所 包装研究部 包装技術G
- 尾下 竜也 委員 株式会社 クラレ エパール事業部 市場開発部 兼 製品・品質統括部 部長
- 浦澤 正之 委員 アサヒ飲料株式会社 研究開発本部 技術研究所 容器包装グループ グループリーダー
- 山住 弘 委員 雪印メグミルク株式会社 ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室

開催要領

■日 時: 令和6年1月26日(金) 13:00~16:50

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式
申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

■参加費:

1名分 参加費	会 員	会 員 (3名同時申込 1名あたり)	一 般
本 体	15,000円	13,000円	22,000円
消費税 10%	1,500円	1,300円	2,200円
税込合計	16,500円	14,300円	24,200円

■定 員: 100名

【参加申し込み方法と注意事項】

【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの包装材料セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp/>
- 参加申込者には参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

【個人情報の取り扱いについて】 1. 個人情報は「第19回包装材料セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。 2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

■お問い合わせ先■

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係 担当: 小橋

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03 (3543) 1189 FAX.03 (3543) 8970 e-mail: kobashi@jpi.or.jp